

33-139

四七 受信〇一四二 譯了二一三〇 電〇四〇八九 作 概
譯始〇三三〇

緊急

三三根



三三根戰鬥機報告信盤所

筑波空・六才第一空基地

機密第〇五二三五一番電 四分ノ四

七追加 四月一日ヨリ四日迄ノ綜合戰果人員殺傷六〇〇戰車擱坐八

自動貨車爆碎八 物資集積場爆碎九 迫撃砲破壊六 兵器其ノ他

若干鹵獲

八參考事項 敵ノ使用新式ノ戰車ハM四中戰車及M七自走榴彈砲

無蓋戰車ト報告セシモノナリ。

（電信課註 本電四分ノ六二三既配布）

通四四四二 呂二Bラ十八（四五七三、五K）高二放 金方（秋 葉）

四月八日

33ab

作戰緊急

四 一〇 受信始一八八二〇 了了一八五五 電〇五七三九 作概〇

三 三 根 P



● ダバオ第二航空基地

● 一航空艦隊 三南道艦隊 P ● ダバオ第一航空基地

機密第〇六一二〇七番電

- 一、敵艦船一二〇〇（計六二隻）セブ島岸壁横附中 大型輸送船
- 二、小型四D一セブ港内D一 驅潜艇四 特務艦一 海上トラ
- 夕四 セブ港外夕リサイ間驅逐艦一 驅潜艇一 小型商船六
- 上陸用舟艇其ノ他三七

三、天候雲量八 雲高二千
 通六四九九 於一〇（一五七一〇KC）三二通 峯（大見）

昭和廿年四月拾壹日

四七 受信一三二〇三 譯了一五一五 電〇四一七七 作 概〇

緊 急

ダバオ第一航空基地



第五基地航空部隊戦闘概報着信箇所

機密第〇六二一一二番電

H三A E 戦闘概報(四月六日)

一〇九〇〇一〇九三〇P I三八 一機各基地偵察後宣傳ヒラ散布一〇

三〇一—一四〇E I二四 二機來襲ラサン地區陣地、施設及水際

陣地ヲ爆撃海軍關係戦果被害ナシ

二營隊ボアンボアンガ分遣隊ハ三月末遂ニ彈藥盡キ西海岸方面ニ轉進セ

ルヲ以テ爾後連絡ナシ

三營隊ホ口派遣隊トハ四月四日以後連絡ナシ被爆ニヨル電信機故障カ

若ハ敵來襲ニ基クヤ一切不明

通四六七四 呂一Eラ一八(一〇二六五KC)五PGE 村尾(福田)

四 當隊ボンガオ派遣隊ハ三月三十日基地ヲ死守セントストノ電ヲ發シ
タル以後消息不明
五 當隊目下實動機ナシボルネオ方面航空部隊ニヨル偵察ヲ希望ス。

人

四 七 受信〇三五二 譯了〇五四〇 電〇三九八四 作機

譯始〇四〇五

至急

ラファン航空基地

西部空襲部隊

戰區概報着信監所



機密第〇六二一四六番電

戰區概報

一 敵機來襲狀況四月三日 一一三八 P I 三八 四機一三一五 B I

二 四〇四機四月四日 一三二〇 P I 三八 二機何レモ偵察通過 四

月五日 〇九三〇 B I 二五棧橋附近銃撃 一一二〇 B I 二四 一機

偵察 四月六日 一一〇ヨリ 一七五〇迄 B I 二四 三機乃至四

機編隊波狀的ニ來襲ラファン島及本土沿岸附近偵察

二 戰果被害ナシ

三 〇八〇〇敵浮上潜水艦二隻ラファン島北西距岸三軒ニ出現所在

陸軍部隊ト協力嚴戒中ナリシモ其ノ後異狀ヲ認メズ

浦四五〇三 呂一〇ラ十八一六二三五 K C 一〇通

山内(機密)

昭和廿年四月廿日

33 189

緊急

四八

受信一五〇〇七

譯了一八〇〇

電〇〇四八〇

昭和廿年四月九日



三十三根戰團概報着信艦所

三十三根

機密第〇六二三四九番電 二分ノ三

三十三特根戰團概報第六號(六日)

岸壁ニ横附ケセルモノ商船ニ潜水艦一其ノ他上陸用舟艇

驅潜艇一水上基地附近驅潜艇一〇ニシテ陸上ナシ

自撃シ得タル敵兵力M四戰車一M七戰車四裝甲車一野砲

步兵二五〇名

(ロ)早朝砲火ヲ浴セ機橋地區ヲ砲撃相當損害ヲ與フ敵ハ直ニ艦砲

ヲ以テ應戰セリ雨天ノ爲戰團概報シテ低調ナリ野砲ヲ以テ高地

一帯ヲ砲撃シツツM七戰車ニ步兵約一〇〇名ト共ニ海軍陣地ニ

侵入セルヲ皇軍特有ノ迫撃砲ニ依ル肉攻ヲ以テ撃退セリ

通五上六四 呂一〇ラ十八(一五七一〇K)三十二通 未松(雨谷)

三〇七三〇ヨリ一八〇〇迄 P 四 U 二二 P 三八 一五 B 一 二四

二〇 B 一 二五 二 計五九來襲主トシテ海軍陣地ニ對シ熾

烈ナル爆撃ヲ加ヘタリ其ノ他觀測機一地區ニ發着セリ

四 方面阿蘇山地區隊前端ニ約一五〇ノ敵及M七戰車二侵入シ來

撃退セルモ若干殘留陣地構築中ナリ

五 戰果被害調査中

六 其ノ他

(イ) 數日來ニ比シ敵機ノ來襲多數ナリシハ特異ナル狀況ナリ

(ロ) 敵ノ警戒線次第ニ嚴重トナリ斬込隊ノ潛入困難ナリ

30 by

人



四八

受信開始 〇〇八〇三九五

譯了 一〇四〇 電 〇四六一六 作標

三〇根

三〇根 戰團機報着信艦所・先遣部隊
第五航空艦隊
ヤツブ航空基地・四十六警備隊

機密 第七一八四一番電

三〇根 戦闘機報 (四月七日)

一 P P 附近敵艦艇状況

(1) 〇六〇〇 輸送船 (七千噸滿載) 小艦艇五 P P I 東方海面
南下

(2) 一二四〇 輸送船 (八千噸滿載) Y L 入港

三 視界内敵艦艇状況

通五九三九 呂一Bラ一四 (一五七一〇) 三通 (1)

石川 (遠田)

昭和廿年四月九日

(イ) コスソル水道大型輸送船六小艇輸送船二中型油槽船二驅逐艦
二小艦艇一七時務艦一魚雷艇二二

(ロ) P P I 周邊巡洋艦一掃海艇三驅潛艇五

三昨六日夕ヨリ本七日早朝迄敵機六機〇七〇〇ヨリ一六一〇迄引

續四發延三六 T B F 六 P B Y 一計四九 P P ニ來襲銃爆撃

四敵機 P P I 發進

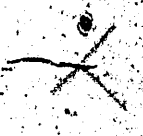
(1) 昨六日一三四〇敵送機一發 B I 二四 一輸送機一着 (合計輸

送機七 B I 二四 一三發輸送機着)

(ロ) 本七日〇九四五一一〇〇大型機二着 B I 二四 三發輸送機

一〇發三着。

(2)



四九

受信一七五〇
譯始一七一〇

譯了二一〇〇

電電〇五三七七六

作機

緊急

三

三

根



● 三三根戦闘機報告信艦所

機密第〇八〇一〇五番電 二分ノ一二

セブ島

一、艦船状況 一五〇〇横附中、商船二出港南下セリ一八〇〇頃才

ボン様橋横附中商船二水上基地附近大小艦船二七

二、陸上状況

(イ) 目視得タル敵主要兵力戦車一野砲一四歩兵約四〇〇名

(ロ) 本日専ラ野砲艦砲ヲ以テ陣地一帯ハ間斷ナク時間砲撃ヲ加ヘラル

通五五九四三 呂一〇ラ十八(一五七一〇) 三二通 半澤・末松(木下)

(1)

三、^ハ 爆撃又熾烈ヲ加フルニ至レリ海軍側陣地前面ノ敵兵目視シ得タルモ

ノ約二〇〇

四、^ハ 爆撃ノ掩護下機銃ノ攻撃ヲ加フルト共ニ陣地構築並ニ工事彈藥ノ運

搬ニ從事シアリ我之ニ對シ主トシテ迫撃砲ノ猛射ヲ加ヘ大ケル損害

ヲ與ヘタリ一九〇〇頃ヨリ戰車ニ及歩兵約一ケ中隊陣地左翼ニ迫撃

砲七陣地右翼ニ内迫目下交戰中

ハ一昨日早朝十二糎高角砲ニヨル戰車集結所砲撃以來戰車出撃極メ

テ低調ナルハ特異ナリ

二、敵上陸以來戰車ヲ曳行露投シツツアリタルニ昨七日ハ二輛ニ過キ

ズ

三、一、二〇海軍警備地區P四U一 一P一六一 一B一三四及觀測

機各二機飛來スP一三四ハ陣地帯ヲ射撃ス

四、陸軍方面阿蘇山地區付瀨正面ノ敵ハ遂次兵力ヲ「トラツケ」等ヲ使

用シ攻撃準備中ナルモノノ如シ其ノ他各方面共若干ノ兵力來襲シア

(2)

ルモ健闘中ナリ

其ノ他

(イ) 海軍側陸地正面ノ敵前面サイナモ航空基地ニ對シ夜襲ヲ決行奪回

ヲ企圖シアルモ火力熾烈ニシテ未ダ成功セザルヲ遺憾トス

(ロ) 斬込隊ノ報告ニ依レバ敵ハ警戒用トシテ犬ヲ使用シ始メタリ

六 戦果被害調査中。

昭和二十年四月拾日

(3)

32

四八 受信一七五〇〇
譯始一七五〇〇

譯了一九二〇 電〇四七九五 作 概

昭和四年四月九日

緊 急



第三二根戰鬪概報着信艦所
二二、二三、二六各根

機密第〇八〇六三二番電

三二警備部隊戰鬪概報第九二號(四月七日)

一、マナイ方面〇八五〇P I三八 一機北上—〇四五P B M I— 一機

南下—〇五〇I—一二二〇B I二四 二三機「バナカン」第一飛行場

附近及ラサン地區銃爆撃一五二五ダクラ ス一機北西—行戦果ナシ

被害調査中

二、マナイ方面六日—〇〇七日〇六〇〇ヨリ敵群來襲セルモ其ノ都度

陸軍部隊ト協力之ヲ蒙退セリ戦果被害ナシ。

通五四二二 呂一〇ラ一八(一五七一〇KG)三二通 文木(福田)

人

四 九 受信一〇四四〇 一三四〇 了二二四〇 電〇五二七七 課 通

共 符

高情報着信艦所・菲島部隊P・支那方面艦隊P
第三、第五航空艦隊P

機密第〇八一五〇九番電 二分ノ二

七日レイテ附近海面特定艦艇八隻ノ多キニ及ベルモ第七艦隊主要指揮官及該方面航空部隊指揮官トノ通信連絡極メテ活潑化シ特ニ「レイテ」東方數十哩ニ測定セラレタル「第七艦隊艦係」ノ發信活潑ナリ但シ南西諸島方面トノ機聯稀薄。

通五六八二 呂一八ラ八（四五七二五〇）高通 堀田（福田）

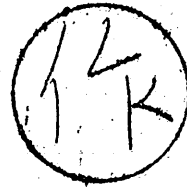
昭和廿年四月九日

昭和十年四月九日

四八 受信二〇八〇三 了二一四〇 電〇四九七八 作機〇

緊急

三二 通



三一 通五分遣隊

大海一部・聯合艦隊口・南西方面艦隊口・三三警備隊

機密第〇八一五一六番電 二分ノ一

發 第三十二特別根據地隊司令官

宛 第三南遣艦隊司令長官

貴機密第〇七〇八五三番電關聯

一「ボルガオ」方面ノ狀況ニ關シテハ四月二日以降通信杜絶シ且之

方狀況偵知ノ方途ナシ其ノ後ノ實情不明

二同地派遣隊ハ同方面陸軍部隊「ボルネオ」轉進後寡兵克ク敵匪敵

通五四四九 呂一Bラ十八(一五七一〇KC)三二通

石川(凌瀨)

(一)

機ノ跳梁下孤島守護ノ重任ヲ全ウシツツアリシガ三月下旬以來連日敵機數十機ノ反覆爆撃ヲ受ケ四月二日〇七三〇約二一隻ノ敵艦船「サンガサンガ」島ノ西方海面ニ出現セルモノアリ所在海軍指揮官ハ之ヲ迎ヘテ撃滅スル決意ヲ電報セシガ其ノ後敵ノ熾烈ナル砲爆撃ニ依リ通信装置ヲ破壊セラレタルモノノ如ク通信杜絶スルニ至レリ。

〔電信課註 本電二分ノ二未着〕

四九八 受信一八四四〇五 譯了〇九四五 電〇五二七五 作概〇



三一通第五分遣
大海上護衛總司令部
聯合艦隊司令部

機密第〇八一五一六番電

二分ノ二

三、航空部隊状況並ニ敵側ノ放送ニ鑑ミ四月二日以後敵攻略部隊ヲ攻

撃ノ爲勇戦敢闘セシガ「サンガサホガ」島ノ飛行場ハ遂ニ敵ノ占領
スルニ至リタルモノト推定ス

四、同派遣隊指揮官（同方面海軍指揮官）ハ海軍大尉小川喜代松ニシテ
所在海軍兵力ハ三月ボングオ派遣隊機密第一七一九四〇番電通リニ
シテ最後ノ一人ニ至ル迄勇戦敢闘ヲ續ケツツアルモノト認ム

尙一〇三施設部ボングオ派出所長ハ獨斷ヲ以テ三月二十七日古瀨技

手ヲ長トシテ部下ノ一部（醫師一 兵一 工員二六 土工員九五）ヲ

通五四六七 呂一Eラ十八（一五七一〇KC）廿二通 加藤（小野田）

「ボルネオ」ニ移動トシタリ目下其ノ一部（古瀬技手以下六二名）
ハ「サンダカン」ニ殘餘（府田技手以下五三名）「ダンビザン」ニ在
リ。

（電信課註 本電二分ノ一既配布）

特別掃海隊

人

四八

受信〇九三一五

譯了 一〇四〇

電 〇〇五五一一九

作區

昭和十一年四月拾日

吳防戰

佐伯防備隊



海上護衛總部隊各口・吳鎮。豐後防備部隊。門司在勤武官
吳鎮掃蕩部隊

機密第〇八一八一〇番電 二分ノ一、二

吳防備戰隊電令作第二一號ニ依ル當隊特別掃海隊編制左ノ通り定ム

一 總指揮官 氏家中佐

二 第一等別掃海隊 (奧山大尉) 以下括弧内指揮官ヲ示ス 驅潛特務艇二

二七・一七五特別驅潛艇 神德丸 新平丸 特設監視艇 常盤丸 日榮丸 大

發二隻

三 第二特別掃海隊 (國司中尉) 驅潛特務艇 一六四・一七四 徵備船 八

隻

通五五六七

天二 B 夕八 (B) 吳通

咲花 (川崎)

(一)

四、第三特別掃海隊（岩本中尉）特設驅潛艇一六明玄丸、一七明玄丸
徵備船八隻

五、第四特別掃海隊（島田兵曹長）特設驅潛艇三號日ノ出丸五號日ノ
出丸特設監視艇春日丸榮盛丸

(二)

33 abe

四
一一〇 受信二二五五 譯了〇九一五 電〇六〇一五 作 概
一一〇 譯始〇五〇〇



三三根戰團概報着信處所
第一、第二各空基地

機密第〇八二三二二番電 二分ノ一

第三十三根戰團概報第八號セフ島

下二八〇〇敵艦船セフ港内大型商船二小型二其ノ他附近ノ棧橋ニ在
ルモノ驅潜艇一濠外警備艦一三

三陸上方面

(1) 目標得タル敵兵力野砲一迫撃砲一〇歩兵約一二〇

(2) 奇襲部隊ハ正面ニ堅固ナル陣地構築ノ敵ニ對シ昨夜ヲ夜襲ヲ決行
セシモ成功セズ今朝來敵ハ昨日同様熾烈ナル砲撃ヲ加ヘ後方擾亂
ヲ策シアルモノ如シ。

一電信課註 本電二分ノ二既配布
一東通註 本電誤字極多シ

通六六二〇 呂二日ヲ十八ハ七八百五〇三十二通 富永ハ五 島

昭和廿年四月拾陸日

33 d/f

34

四九 受借一七〇三
開始二〇三五

丁二二三〇 電〇五四〇三

作 戦

三十三根

三十三根戦闘機報告信

機密第〇八二二三二二番電 二分ノ二

陣地隠蔽ノ敵ハ整備中ノ氣配ナク専ラ攻堅據點タル陣地構築ニ米陸軍

アリ七日南方陣地左翼ニ現ハレタ敵ハ夜襲ノ上退却トリ其ノ後行動不

明ナリ更ニ今朝同方面高地ニ敵約一箇小隊陣地構築中今夜夜襲ノ豫定

三陸軍ハ小富士地區像方面敵ニ對シ七日夜夜襲ヲ決行退却トリ

四飛行機状況 ○六三〇ヨリ一八〇〇迄B 24 二〇P 四U 一〇B 26 四P 38

二P 61 一 観測機四計四一飛來〇六二四及一三二五ハ主トシテ陸海軍

陣地重要箇所ニ對シ機烈ヲ加ヘタリ

五 戦果被害調査中。 (電信課註 本電二分ノ一未着)

通五九九七 呂二〇亂十八 (一五七一〇) 三十三通 加藤(酒巻)

昭和廿年四月拾日

人

四九
至急

受信一三五九 譯了一四五五 電〇五一八二 作 概〇

昭和廿年四月拾日



AS三部隊・一海防隊・能美・海防二二三・三宅
海上護衛總口・佐鎮・鎮管・上根▽・青根▽・10三戰隊▽・九五

航空隊▽

機密第〇九一〇三一番電

一 B F 電令作第三二號

二十日附左ノ通

AS三部隊ニ編入一哨戒 海二二三 二哨戒 一海防隊(能美) 三
哨戒 三宅

能美哨區着後第二哨戒部隊指揮官ヲ一海防隊司令トス。

週五八六三 天二Bケ六(B) 佐通 廣田(新井)

昭和廿年四月九日

四九 受信一八二〇〇 譯了—一九〇〇 電〇五二五八 作 概〇

緊 急

停

ツゲカラオ、アバリ各航空基地・非島部隊口
パヨンボン通信基地

（二十一日通氣付）

機密第〇九一—五八番電

發 南西方面艦隊參謀長

通報 分遣隊長

尙武通信諜報ヲ綜合スルニ此處數日內ニ「レイテ島」方面ヨリ敵策
動ハ指向性明ナラザルモ比島内ノ算大ナリノ兆アリ「アバリ」「
タバオ」「ホロ」北「ボルネオ」方面警戒ノ要アリ

通五九九三 呂一ブラ十八（一〇二六三）五 F G B A

品田（海）

32 kg

人

四九 受信一六六〇七 了 一七四〇 電〇五二四三 作 概

作戰特別緊急

三 二 根 P



- 三二根 戰艦概報着信艦所
- 二二、二三、二六各根 P

機密第〇九一二二三番電

三十二警備部隊戰艦概報第九四號（四月九日）其ノ一
 水口方面狀況敵ハ驅逐艦二隻及飛行機擁護ノ下ニ〇八四〇上陸用舟
 艇小型一七隻大型十隻ヲ以テ「夕タリビ」（水口市東一三軒）附近
 ニケ岸ヨリ上陸ヲ開始之ヲ迎撃中。
 通五九三七 呂一〇ラ一八（一五七一〇KG）三二通 標水（福田）

昭和廿年四月拾日

3209

K

作戰緊急

四一〇
發信一八三〇〇

時一九〇五 電〇五七三一 作概〇

昭和廿年四月拾壹日



三三管水口派遣隊

三一連五分遣隊・三三管備隊・神尾南部(實測)

機密第〇九一四〇三番電

三二管備隊指揮官

水口島派遣隊長

通報 南西方面艦隊長官 三南遣艦隊長官

敵侵攻部隊水口市附近附近上陸ノ報ニ接シ水口派遣隊長ハ所在海軍

部隊ヲ統一指揮陸軍部隊ト緊密ナル連絡ヲ保テ積極果敢且強靱ナル

戦闘ニ依リ仇敵擊滅ス 邁進スル

衛通信ノ長期確保ニ關シ殊ニ注意スル

通六五一一 於十一月廿一〇〇〇三二通 中川(取田)

35kg

X

至急

四九

受信二三二五
譯始二三四三

了

〇〇〇〇 電〇五三六三 作機

昭和十三年四月拾日



三十五警備隊
非島部隊各F、D・聯合艦隊
大海參一部

機密第〇九一六三四番

發 南西方面艦隊長官

三五KG 國廣小隊が周到ナル作戰準備ト勇戦敢闘トニ依リ多大ノ戦果ヲ爲
ゲタルハ本職ノ満足トスル所ナリ今後愈必勝ノ信念ヲ堅持シ既往ノ戦訓ヲ
活用積極果取シカモ鞏強ナル戦闘ヲ實施益戦果ヲ興充セン計トナ期スベシ。

通六一三九

オ一三(四七四二、五KG) 五FGB▷山本(波邊)

局長					
一課長					
A					
B		K			
E		I			
J		G			
C		H			
F		D			



三十一通五分遣隊

四九 電信一八一八 譯了一八五〇 電〇三三八四 作 編〇
作戰緊急 譯始一八四〇

昭和廿年四月拾陸



● 南西方面部隊情報着信總所

● 三十一週第五分遣隊

機密第〇九一六五六番電

發 參謀長

九日一〇〇〇

マリノガエン灣艦船狀況 輸送船一五 海濱船七 大型上陸用舟艇五
小型舟艇一六 驅逐艦一 驅潛艇二
ニサンブツピアン飛行場在地機大型三〇 小型一五〇
ミリガエン上空天候卷雲 雲量二 雲高三〇〇〇 風向東ノ風 風速
三米

通六〇二二於十日(一〇二六〇七)五時(附)谷

3319
南非洲改進黨

人

作戰緊急

四九

受備二〇三三二
譯始〇〇三〇五

譯丁〇〇五五 電〇五三八六 作 概〇

昭和十年四月拾日

停

- 三三三三・三三三三水口派遣隊三二根△・南非洲
- 第一航空艦隊 尸

機密第〇九二一〇二番電

發 南西部隊總揮官

敵攻略部隊「水口」進攻ノ報ニ依リ三三 K G「水口」派遣隊長ハ

在「水口」海軍部隊（含南非洲）「水口」派遣隊（ヲ指揮シ陸軍部隊

トノ連繫ヲ密ニ飽ク迄通信連絡ヲ確保シテ積極的威嚇感ニ邁進スベ

通六一三一 呂一〇。ラー八（四七四三五）（五）小森（飯村）

昭和十年四月拾日

四
十
開始〇九二二〇〇〇〇
第一二二二〇〇〇五五五七
作 機 〇

● 南西方面部隊
● 第三十〇團五香道隊



● 聯合艦隊各口・第一南進艦隊口
大海軍一部

機密第〇九二二〇七番

● 南西方面艦隊參謀

最近菲南方面敵殊ニ上陸地點或ニ兵力左ノ通

三月二十日イロイロ(兵不詳)一九〇セブ(四月三日敵兵力約五〇〇)

○ト判断黒人多數ヲ在留混合シアリ(二十九日バゴロト(半數第八軍

四十師ノ一部兵力不明)四月一日レガスピ(兵力約五千戦車約二〇

艘洲兵ノ若年者及米比軍)二日ボンガオ(敵艦船二一隻兵力五〇〇)九

日小口(驅逐艦二 掃海艇三 上陸用舟艇大型十 小型十七)敵ノ上

陸時刻ハ日出直後ナルコト判明

通六二六三 天一ヲラ十二(一一三四七五四)五ヲ〇〇放

機密(猪 狩)

33 army

172

四 一〇 受信二一四六 譯了〇一三八 電〇五九三五 作概

緊急

三三特根戰概着信艦所

三三特根

機密第一〇〇六五〇番電三分ノ一

第三十三特別根據地隊戰報第九號

一、艦船狀況セテ島棧橋樑附中小型商船六大型商船一港内驅逐艦一南口

ヨリ「タリサイ」艦艇二四本日輸送船四（兵員及上陸用舟艇滿載）

驅逐艦一入港商船三輸送船二掃海艇四出港セリ

三陸上方面

(イ) 目視得タル敵兵力野砲一七高角砲一三迫撃砲二二歩兵約二五〇

(ロ) 終日艦砲射撃 ト共ニ熾烈ナル砲爆撃ヲ加ヘタルモ

陣地正面ノ敵ハ未ダ前進ノ氣配ナシ

通六五九九 一〇一B ラ十八（七八五五KG）三二番 筒井（鈴三）

昭和七年四月拾壹日

一 電信課註

本電三分ノ二、三未着

2

(ハ) 陣地左翼日區ニ陣地構築中ノ敵約
 中隊ニ對シ八日夜夜襲ヲ決行
 セシモ奏效セズ
 今夜決死再行ス

四 受信一三二七 詳了〇八五六 電〇六五五四 作

緊急 三三根 三三根



三三根 戰鬥機 報着 信艦所

機密第一〇〇一五〇番電

三分ノ二

三陸軍陣地方面小富士地區隊ハ八日夜侵入セル敵ニ對シ夜襲ヲ決行セ

シモ不成功今夜再行ノ豫定 阿蘇山地區隊正面ノ敵ハ士民ヲ使用彈

藥運搬中ナリ 其ノ他著變ナシ

四〇六〇ロリ一八〇〇迄B一三四、六四、四〇一、三六P一六一

及P B V I 一各一機 計一〇二來襲機烈ナル銃爆撃ヲ加フ

五戰具被害ハ五日ハ八日

(イ) 戰果 人員殺傷三〇四以上戰車擱坐四以上飛行機墜落二機銃爆撃

一 彈藥倉庫炸碎七

六 内二大破ト一チ力爆碎各飛行場(格納中)

東京通信課註

本電誤字極多シ一カノ一未着

通六九二四 月一Bラ十八一五七一〇KC一三二通 坪井(吉井)

昭和廿年四月拾貳日

33 ABF

K

四 一一 受信一八二七
譯始一八三八
譯了一九四五 譯〇六四九三 作 流

緊急

三三根戰鬪概報着信處所

三三根

機密第一〇〇一五〇番電三分ノ三

修理工場 (工場内戦車一マリ) 爆碎一 彈藥庫爆碎一 幕舎家屋爆碎二一

物資集積場爆碎七

(ロ) 被害戦死五〇 戦傷一五 行衛不明三

六所見其ノ他

(イ) 敵ハ戦車ノ被害ヲ考慮シ専ラ砲爆撃ニ依リ陣地破壊ヲ企テアルモノノ如シ

(ロ) 情報ニ依レバセブ島北方山地 (敵密集部隊陣地背面) 依リ逐次セブ市

ニ下山現在市中二萬人ニ達スルト謂フ。(電信課註 本區分ノ二三未着)

通一三三 呂一Bヲ十八 (二五七一〇七) 三二二起 相澤 (石井)

昭和廿年四月拾日

3109

至 四 一〇 急

開始 信一六五七
一八四五

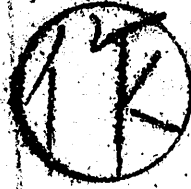
了 一、一、〇六〇〇 電〇五九四四

就作 本概〇

昭和廿年四月九日

三十一通第五分遣隊

南西方面部隊情報着信艦所



機密第一〇〇八五一番電

パギオ方面敵機來襲狀況（四月三日乃至九日）

一、出現敵機總數二二七機内通過機一一三

二、出現機種（機數）

- P 一三八（一一九） P 四七（二二） P 五一（二九） P 六一（八） S
- B D（四） B 二四（一五） B 二五（二二） A 二〇（七） O 四七（一

三、攻撃地點市周邊陸軍陣地ニ對シ從來通攻撃實施ス八、九兩日市街地

ニ對シ爆撃ス

四、先週ニ比シ來襲機半減セルハ天候不良ノ爲ト認ラル晴天時ノ來襲ハ

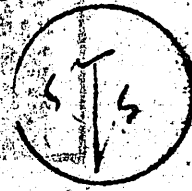
從來ト變化ナシ。東通註 本電誤字極メテ多シ

通六四四四 呂一〇（九一四五KG）高二放、小森、雨、谷

出

緊急

四二一 受信 始 一八四七 二〇〇〇 丁二二四五 電〇六三四六 作 概



第五基地航空部隊戰團概報着信處所

機密第一〇二二〇五番電

H三AB戰團概報(四月十日)

一〇七四五 一〇八一〇 F四U 四機來襲各基地銃爆撃 一〇一五一 一〇三五 P三八 二機B一二四 一機偵察 一五五 五一六一〇 F四U 四

機來襲各基地銃爆撃 果被害ナシ

ニマラバン飛行場陸軍警備部隊ハ遂ニ同飛行場奪回ヲ斷念本日夜半「バラシ」(マラバン トコタバトノ中間)ニ轉進

三、サランガニ基地〇七〇〇 一四〇 B一二五 二機F四U 四機

P一三八 三機來襲飛行場及周邊銃爆撃 飛行指揮所及兵舎一燒失

通七一五一 呂ニBラ十八(一五七一〇K)廿二通 高橋(小野田)

昭和廿年四月十日

1951

33 aBf
K

四 一 一 受信一六〇五〇
開始一六〇五〇
譯了 一〇〇〇 電〇七二二八

緊急

三三根

三三根戰團概報着信艦所

才第一、第二各航空基地

秘密第一〇二三一七番電、二分ノ一

三三特根戰團概報第一〇號(十日)

セブ島

一、艦船狀況(八日)

セブ島入泊中大型商船二中型商船一小型商船四上陸用舟艇六南口ヨリ「夕リカイ」間驅逐艦一大小艦艇二八

三、陸上方面

(1) 目視得タル敵兵力戦車六野砲一四高角砲一三迫撃砲二歩兵約三〇〇

通六、五、一、十八、(一五七一〇) KC (三二通 霧生 (三石)

昭和廿年四月拾四日

敵ノ砲爆撃ハ依然熾烈ナルモ海軍陣地正面ノ敵ハ前進ノ氣配ナシ

海軍陣地左翼前面ノ敵陣地ニ對シ一昨夜及昨夜約一ケ中隊ヲ以テ夜襲ヲ行ヘリ今朝其ノ一部ヲ以テ戰車四件ヲ敵ハ海軍陣地ニ反撃シ來レリ

三、奪回陸軍最前端ノ陣地ノ一部ヲ潰滅セリ今夜極力切込一組夜襲ヲ決行セントス

一、東道註 本電誤字極メテ多シ

一、電信課註 本電二分ノ二既配布